

E1東名高速 ③302.9kp付近 回送中車両からの落下物事象

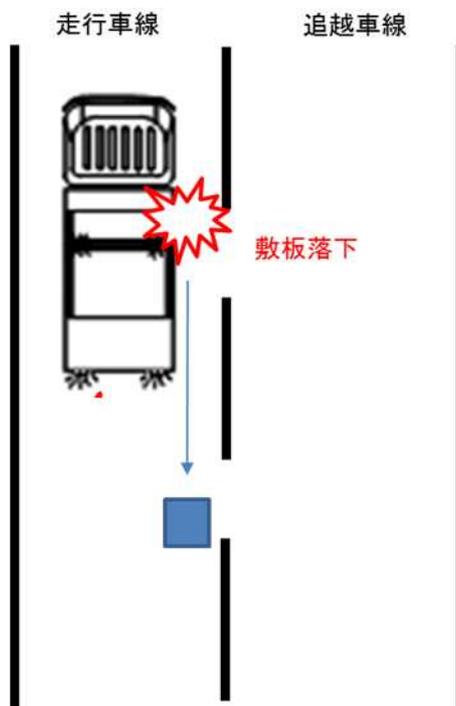
- 【発生日時】 令和5年5月23日（火） 7:45分頃
- 【発生箇所】 E1東名高速道路 下り線 302.9KP 本線 走行車線
- 【工事名】 2023年度 東名高速道路 管内維持修繕業務
- 【受注者】 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社
- 【事象概要】 回送時に車両（トラッククレーン）に積んでいたアウトリガーの敷板（1枚）を本線の走行車線に落下させたもの
- 【被害状況】 物的被害：なし
人的被害：なし
- 【第三者被害】 なし
- 【公表有無】 なし
- 【報道等】 なし
- 【対応状況】 本日の作業中止。原因の究明と対策を話し合った。本日夕方より緊急安全大会を実施予定
- 【時系列】

- 7:45頃 落下事象発生。落下に気づき路肩に停車。
- 7:55 一般の方が本線上落下物があるとの通報。
- 7:59 管理隊及びPC現着。（落下物は管理隊にて回収）
- 8:15 第三者被害については現時点でなく、その場でPCより口頭注意。
- 8:15 原因者・管理隊・PC 離脱
- 16:00 緊急安全大会実施

【位置図】



【落下イメージ】



【状況写真】

■5tトラッククレーン



■落下させた敷板 (H500×W500×T90)



■固定状況(通常時)

通常時



落下時



■固定部(近景)



固定金具が何らかの理由で走行中に外れていた
(固定部が緩んでいた可能性有)

【原因】

- ・乗車前に運転手と助手の2名で指差し呼称で目視点検はしていたものの、止金具の固定状況の確認が不足していた
- ・車体・止金具・敷板が黒く、固定状況の確認がしづかった
- ・固定金具が車体の振動等で走行中に外れた可能性があり、外れると敷板が落下する構造である

【今後の対応】

- ・乗車前は必ず止金具の固定状況の確認（目視及び触手）の徹底を再教育するとともに、作業前点検項目に格納確認（敷板・アウトリーガー・ブーム）の欄を追加し、基地出発前、現場離脱前に確認を行う。
- ・止金具に着色等を行う（視認性向上）①
- ・格納箱にフラットバーを溶接し、止金具が外れても敷板が落下しない構造に変更する（二重の落下防止）②

＜物理的対策イメージ＞



＜点検項目の追加＞

申日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋

班長 現場代理人

安全ミーティング日報の点検項目に（敷板・アウトリーガー・ブーム）の格納確認欄を追加

作業前点検項目	確認	作業前点検項目	確認
作業準備書		資材の確認 (車・ブーム・機材)	基地出発前 現場離脱前
車両運行前 (運転・スレーブ・クレーン・機材)		格納確認 (敷板・アウトリーガー・ブーム)	基地出発前 現場離脱前
設計・資材 (安全装置・配管等)		交通規制 (協議書・規制区・位置・出入口)	
作業中・移動時の事故防止対策 (資材の移動の恐れのある物・危険発生時の避難ルート)		資材用品 (保管禁止用器具・とまるそう等)	
		ケーブル等埋設物 (確認方法・順序等)	

可能性	重大性		軽微		中程度		重大	
	1	2	1	2	3	4	5	6
滅多に発生しない	1	2	1	2	3	4	5	6
たまに発生する	2	3	2	3	4	5	6	7
頻繁に発生する	3	4	3	4	5	6	7	8

注: 別紙編、大: 大型、中: 中型、軽: 軽微

リスク	危険性への対策 (リスクレベル 3 以上を対策レベル 2 以下へ)	可能性	重大性	リスク	実施確認 (確認者)